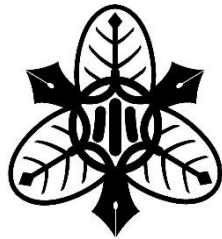


学校だより



学校教育目標

ふるさとを誇りとし、

夢や目標に向かって

主体的に考え行動する子供の育成

令和5年7月13日 第4号

文責： 校長 井 正成

授業参観、PTA 講演会、学級懇談お世話になりました

先週土曜日に、授業参観、PTA 講演会、学級懇談会を実施しましたが、悪天候の中に御来校いただき、ありがとうございます。1学期の子供たちの成長した姿を確認していただくよい機会ではなかったかと思えます。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、ここ3年はこのような機会が十分に持てなかったため、学校(担任)と保護者、また保護者同士のコミュニケーションが十分でなかった面もあったかもしれません。やはり、子供たちの健やかな成長のためには、子供を中心に据えて、お互いにしっかりとコミュニケーションをとりあっていくことが極めて重要です。顔と顔を合わせる機会を大切にして、子供たちを保護者の皆様とともに育てていけたらと考えていますので、今後も、授業参観、学級懇談の機会には、ぜひ積極的にご参加いただきますようお願いいたします。(※6月22日(木)には学校公開の機会を設けました。70人弱の方に学校に来ていただきました。祖父母の方の参観が多く、通常の授業参観とは違う形で、このような機会を設けてよかったと感じました。)

PTA 講演会では、ゲーム依存について向陽台病院の辻先生にリモートでご講演いただきました。『「ゲームは楽しい」しかし「ゲーム障害」は怖い』という主旨のお話でした。ゲーム自体に問題があるのではなく、ゲーム依存の背景にある課題に目を向けること、ルールを作ることの大切さを感じた講演でした。もうすぐ夏休みに入り、子供たちがゲームやインターネット、SNS等と接する時間も増えることが想定されます。どうゲームやインターネット、SNS等と向き合っていけばいいのか、主体的に考え行動できる内牧小の子供たちであってほしいと思います。しかしながら、保護者の皆様から子供たちへのご指導は不可欠ですので、ゲームやインターネット、SNS等の使用についてのルールやマナーについて、日ごろからのご指導をよろしくお願いいたします。

水俣・芦北で学ぶ(5年生集団宿泊教室)

6月16日、17日の2日間、5年生は集団宿泊教室を行いました。この集団宿泊教室の1日目は「水俣に学ぶ肥後っ子教室」を実施しました。

「水俣に学ぶ肥後っ子教室」は、県内すべての公立小学校5年生全員を対象に、水俣病への正しい理解を図り、偏見や差別を許さない心情や態度を育むとともに、環境問題への関心を高め、環境保全や環境問題の解決に意欲的に関わろうとする態度や能力を育成することを目的に実施しています。内牧小の5年生の子供たちは、この日までに事前の学習をしっかりと行い、水俣での現地学習にのぞみました。

水俣病資料館では、語り部の方のお話を真剣に聞くとともに、複数の団体と共に学ぶ中であっても、積極的に質問や意見、感想を述べていたそうです。この学習で学んだことを生活に生かすことが大切です。水俣で学んだことを心にとめ、自分の生活の中で、いじめや差別をしない、許さない、また環境を大切にする、そんな生き方ができる人に成長してほしいと願います。

また、芦北での集団宿泊教室では、海辺での活動を精一杯楽しんでいました。「初めて海に入った」という子供たちもいたと聞いています。また、ペーロン船を協力して漕ぐ体験も初めてのことだった

でしょう。

「あしきた青少年交流の家」での集団生活においても、ルールをしっかりと守り、楽しんで団体活動に取り組むことができていました。話の聞き方もとてもよかったようで、「交流の家」の職員の方からも褒めの言葉をたくさんいただきました。内牧小のこれからをリードする5年生の頼もしい姿に触れることができた貴重な2日間でした。

阿蘇の自然とは一味違う臨海での集団での体験は一生の思い出になることでしょう。

体験活動を通して、豊かな心と、生きる力を

学校周辺の田畑をお借りして、2年生はさつま芋の苗植え、3年生は大豆の種まき、5年生は田植えを体験しました。また、内牧公民館の永田館長様をはじめ関係者の皆様、新町クラブの皆様には活動のたびに準備やご指導いただいております。本当に地域の皆様の「子供たちのために」という熱い思いに感謝の気持ちを忘れないことを子供たちにいつも伝えなければならないと考えています。

子供たちからは、活動のたびに「初めて（体験）した」というつぶやきが聞かれます。また、水を張った田んぼに入った感触、さつま芋は苗を植えて育てることや大豆の種は大豆であることなどを知ったことなど、体験を通して分かった多くのつぶやきや感動、驚きの言葉を聞くことができます。このような発見や感動や驚きが、子供たちの心をはぐくみ、生きる力を育てることにつながります。内牧小の校区には、子供たちの体験活動を支えてくださる方が数多くいらっしゃることは大変ありがたいことです。

9月9日（土）には、ここ3年間実施できていなかった「地域体験活動」を実施する予定です。「地域体験活動」を通して、子供たちに新しい発見、感動や驚きが一つでもあれば、意義ある活動になるのではないかと考えています。「地域体験活動」は、各区の区長さんや地域住民の方にもお世話になるかと思えます。保護者の皆様のご協力もどうぞよろしくお願いいたします。

引き渡しへのご協力ありがとうございました

大雨が続き、6月30日（金）と7月1日（月）、そして昨日と、3度にわたって児童の引き渡しを行いました。突然のお願いでしたが、迅速にご対応いただきありがとうございました。危機管理の鉄則として「最悪を想定して」、「空振りには許されるが、見逃しは許されない」ということがよく言われます。

荒天時の登下校の判断については、教育委員会や阿蘇市内の各小中学校と連携を図りながら慎重に対応しています。また、本校の校区は平成24年7月12日に大きな水害に見舞われた地域ですので、十分に気持ちを引き締めて対応しなければならないと考えています。今後も児童の登下校の安全確保のために、保護者の皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

梅雨明けが待ち遠しい時期となりました。梅雨が明けたら本格的な夏となり、子供たちが楽しみにしている夏休みに入ります。交通事故や水難事故、熱中症などの事故防止、新型コロナウイルス感染症等の感染予防対策など、子供たちが、健康で安全に過ごせるように、今後ともご指導や声掛けをどうぞよろしくお願いいたします。